

はじめに

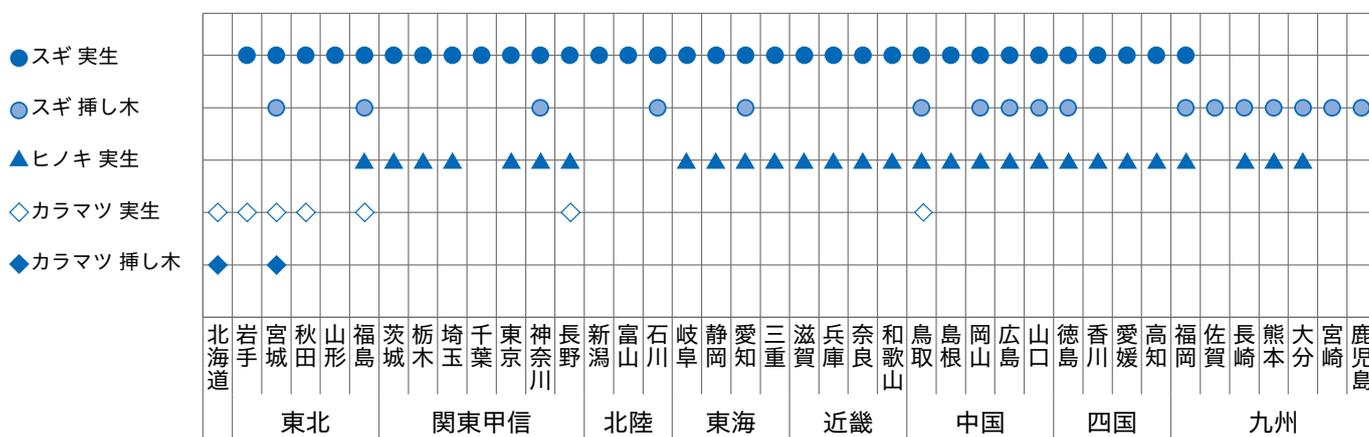
山林用針葉樹コンテナ苗の栽培において、現場で実践されている育苗方法を明らかにするため、全国のコンテナ苗生産者を対象に育苗に関するアンケートを実施しました。アンケートの実施にあたり、回答をお寄せくださったコンテナ苗生産者の方々、アンケートの配布・回収にご協力くださった関連機関の関係者の方々におかれましては、多大なるご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

本パンフレットは、現行の標準的な栽培方法を明らかにし、科学的視点に基づいた全国の苗木生産者の方の情報交換の一助となることを目的として企画されました。

なお、詳細な分析結果については、19ページの参考文献「山林用針葉樹コンテナ苗における育苗方法の現状と課題—全国のコンテナ苗生産者に対するアンケート調査より—」をご覧ください。本パンフレットに掲載している図表は、参考文献の図表を改変したものです。

アンケートの方法

- 回答受付期間 2018年10月～2020年1月
- 参画都道府県 40の都道府県（下記グラフ参照）
- 集計回答数 各都道府県より1～11件、合計131件
- 集計対象樹種 スギ、ヒノキ、カラマツ（クリーンラーチ含む）
- 集計方法 設問の各項目に当てはまる生産者件数を、その設問の有効回答生産者総数に対する割合（%）として表示しています（表中の数値（単位は%）や、図中の“相対度数”）。そのため、複数回答可とした設問については、割合の合計値が100%を超えることがあります。移植率と得苗率は、アンケートに生産者より直接記入があった数値（%）を使用しています。詳しくは、上述の参考文献をご覧ください。



各都道府県におけるアンケートで回答のあった栽培樹種